

第9回 JCHO 福岡ゆたか中央病院 地域協議会 議事概要

【日時】令和2年2月13日(木) 19:00~19:50

【場所】JCHO 福岡ゆたか中央病院 大会議室

- 【議題】
1. 当院の活動実績報告
 2. 中核病院又は補完病院の決定について
 3. 協議会委員からの意見・要望事項

【出席者】 田代 裕子 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 健康増進課長)

岸本 孝司 (直方市消防本部 消防長)

池本 隆幸 (直方市市民部高齢者支援課 課長)

山近 仁 (直方鞍手医師会 会長)

穴井 堅能 (北九州八幡医師会 会長)

輪田 順一 (みずほ内科・歯科クリニック 副院長)

尾形由起子 (福岡県立大学 看護学部 学部長)

井上千恵子 (くらの会 会長)

松本 高宏 (福岡ゆたか中央病院 病院長)

小野 洋 (福岡ゆたか中央病院 副院長)

中塚 敬輔 (福岡ゆたか中央病院 副院長)

野口 利幸 (福岡ゆたか中央病院 事務長)

古賀美砂紀 (福岡ゆたか中央病院 副看護部長)

重田 潤 (福岡ゆたか中央病院 事務長補佐)

※敬称略

【概要】

1. 当院の活動実績報告

(1) 患者動向 (2) 医療機関との連携 (3) 地域との連携 (4) 地域住民への健康促進等について報告。

2. 中核病院又は補完病院の決定について

JCHO の第2期中期計画の中で、厚生労働省からの評価を受けるために、中核病院(救急応需率85%以上)か補完病院(地域包括ケア病棟在宅復帰率85%以上)のどちらかに病院を位置付ける必要があり、当院は補完病院としての位置付けとして委員の皆さまの了承を頂いた。

ただし、これまで通り、地域で求められている医療を提供することには変わりはない。

3. 協議委員からの意見質問・要望事項等

(1) 患者動向について（当院より）

- ① 昨年の7月、8月の1日平均入院患者が減っている。紹介によらない外来患者が減少傾向にある。当院は、地域包括ケア病棟でレスパイトケア入院等の受け入れを行いながら患者数の維持に努めている。
- ② 患者数が減少している要因に直轄地区の人口減少が影響しているのはいか。
- ③ また、病院を受診したくてもフレイルにより受診できない高齢者が関係しているかもしれない。当院の出前講座を利用していただき、元気な高齢者を増やしていきたい。

(2) 医療機関との連携

- ① 輪田委員より、補完病院という位置づけではあるが、今後も今まで通り病診連携として救急の受け入れを行ってほしい。
- ② 山近委員より、福岡ゆたか中央病院には地域の救急医療や在宅医療も含め、オールマイティな病院を目指してほしい。
- ③ 山近委員より、在宅医療を行うには、病院、診療所だけでなく、介護や行政と顔の見える関係で協力する必要があると思う。

(3) その他事項

- ① 岸本委員より、直方市の救急車の出場件数の推移、搬送人員並び、救急出場事故種別概要（前年比）について報告。
- ② 輪田委員より、かかりつけの患者が入院した際は、様子を見に病棟へ訪問することがある。その際は、案内などスムーズな対応をしてほしい。
- ③ 輪田委員より、寝たきりや認知症の患者が増えていると思うが、対象患者の対応を今後の対応について検討委員会等があれば情報共有することができ良い。
- ④ 井上委員より、ケアマネージャーとソーシャルワーカーの合同の研修会を予定している。入退院時の連携に対しての課題を両者出し合って意見のすり合わせを行うことが目的であり、内容等については今後提案していきたい。

以上